

学力テスト 教育長、ランク付け撤回

東京・足立区 予算差別方針変えず

足立区教育委員会が都
と区の学力テストの結果
で来年度の教育予算の一
部に差をつける方針を打
ち出した問題について、
同区の内藤博道教育長は
七日の区議会文教委員会
で、この方針は変わらな
いとしながら、「基準表

によるランク付けの採用
はやめようと考えてい
る」と答えました。
同区教委は、学力テス
トの結果など六項目の査
定基準に基づき、学校を
AからDの四段階にラン
ク付けし、ランクごとに
予算配分に格差を設ける

方針を示していました。
これに対し、七日までに
百件以上の批判的な意見
が区教委に寄せられてい
ます。
日本共産党のさとう純
子区議は、十月の決算特
別委員会での内藤教育長
の「教育は数字を追うよ

うになったら終わりだ」
との発言をあげ、学力テ
ストの結果で予算に差を
つけるやり方を批判しま
した。内藤氏は「教育に
は数値目標が必要だ」
「がんばる学校を応援す
る」と正当化し、学力テ

ストの結果で予算に何ら
かの格差をつける方針に
は変更がないことを示し
ました。
同党区議団はこれま
で、「がんばっていない
学校などない」「困難な
学校にほど重点的に支援
を」と主張し、学校選択
制と一体となった学力テ
ストについて、教育基本
法の精神から離れたもの
と厳しく批判してきまし
た。